

過去5年間の地盤沈下の記録

| 観測年 (平成) | 最大 沈下量 | 累計 降雪量 (本庁舎) | 最大沈下量 観測地点 |
|-------------|-----------|--------------------|---------------|
| 25年 | 1.9cm | 1,377cm | 六日町中学校 付近 |
| 26年 | 1.2cm | 990cm | 六日町中学校 付近 |
| 27年 | 2.2cm | 1,520cm | 六日町中学校 付近 |
| 28年 | 0.7cm | 460cm | 八海高校付近 |
| 29年 | 1.1cm | 899cm | 六日町中学校 付近 |

降雪量に比例して沈下量が大きくなる傾向があります。
 ※沈下量は観測年の9月が基準です。平成30年の結果は、平成31年3月に県が発表する予定です

地盤沈下を抑制するため地下水の節水にご協力ください

環境交通課

☎773-6666

市内の地盤沈下の原因は、消雪パイプの使用による地下水位の低下です。地盤は沈下すると元に戻りません。消雪での地下水利用が増えています。地盤沈下対策として地下水の汲み上げを必要最小限にすることが重要です。

市全体で節水への取り組みを

平成29年の条例改正後から井戸設置件数が増加傾向にあり、地下水の汲み上げ量の増加が予想されます。一人ひとりが節水意識を持ち、散水

を必要最小限にしましょう。地下水を必要以上に使わない

降雪検知器や消雪パイプノズルの点検・調整を行い、無駄な運転や不要な散水の削減に努めましょう。

早期に散水を中止しましょう

2月中旬以降の温暖期に入ったら、建物の保全に影響しない程度であれば散水をやめましょう。

適切な運転管理による節水を

降雪検知器の自動運転に頼らず、積雪の状況を見て、こまめに電源を切りましょう。

地下水だけに頼らない

消雪パイプと人力による除雪を併用することで、融雪効果は上がりま

平成31年度住民健診の申込み受付を開始

保健課

☎773-6811

住民健診調査票を、12月17日(月)に全世帯へ発送します。

平成31年度に実施する住民健診の申込みと、健診状況調査を兼ねています。住民健診を希望しない場合も、ご提出ください。

がん検診を含む住民健診は、すべて申込み制です。申込み漏れがないように、ご注意ください。

住民健診調査票の記入

世帯全員分の項目を、ご記入ください。

提出期限 平成31年1月15日(火)

提出方法

直接提出するか、同封の返信用封筒で郵送してください。(郵送の場合は82円切手を貼付)メール、市ウェブサイトでも申し込めます。

提出先

保健課、大和・塩沢市民センター

基礎健診

16歳以上が対象。ただし、40〜74歳は市の国民健康保険(以下、国保)加入者のみが対象

各種がん検診

・肺がん、結核検診(胸部レントゲン)

・胃がん検診(バリウム)

・大腸がん検診(検便)

・子宮頸がん検診(子宮頸部細胞診、内診)

・乳がん検診(マンモグラフィ)

その他の検診

・骨粗しょう症検診(41・46・51・56歳の女性が対象。手首のエックス線撮影)

健診当日オプショナル

・前立腺がん検査、肝炎ウイルス検査、心電図検査、眼底検査

※心電図検査と眼底検査は基礎健診を受ける40〜74歳の市の国保加入者のみ対象

人間ドックは別途申込みが必要です

住民健診は、市の国保や後期高齢者医療保険で助成・補助を行う人間ドックではありません。人間ドックで受けない検診項目は、住民健診で受けられます。

市の国保以外の特定健診対象者

40〜74歳で、市の国保以外の医療保険(協会けんぽ、健保組合など)に加入している人は、医療保険者から送付される特定健康診査受診券を確認して、健診を受けてください。